

## 株式会社ライトハウスへの出資について

～水産業の不確実性の解消を通じた浜活性化に向けた取り組み～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役：松本恭幸）は、このたび、水産業のICTサービス普及を通じた不確実性の解消「未知を拓く」をミッションとする株式会社ライトハウス（代表取締役：新藤克貴）に対して、出資を行いましたのでお知らせいたします。

ライトハウス（以下「当社」）は、これまで主に沿岸漁業における漁船団のコミュニケーションの課題を解決するためのICTサービス「ISANA」を展開、漁業者のニーズを捉えており多くの利用者の支持を受けています。ライトハウスは資源変動が予測できずヒト・モノ・カネのミスマッチにより不確実性高いことを水産業の課題と捉え、その課題解決「未知を拓く」をミッションと位置づけており、足元では人材の最適化サービスである「Waaf」の展開を開始する等の取り組みを進めて参りました。

当社では、今回調達した資金を活用し、ICTサービス「ISANA」の顧客ターゲットを拡大するほか、漁獲データを活用した流通の最適化や漁船統合管理の高度化に取り組むなど事業領域を拡大していく計画であり、これまで以上に水産業の不確実性の解消、浜の活性化に取り組んでいくこととしています。

アグリビジネス投資育成株式会社（以下「弊社」）は2002年10月の設立以来、農業法人を中心に財務、経営、事業を支援すべく、600社を超える皆様への投資育成事業を行って参りました。2022年2月には拡大改正された「農林漁業法人等への投資の円滑化に関する特別措置法」に基づき、投資対象とする事業領域を漁業・林業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に参加する広範な企業、ベンチャーに拡大いたしました。今回のライトハウスへの出資は、この水産業への事業領域の拡大を受け行った第一号案件です。

我が国の農林水産業は需要供給の両面で縮小傾向にあり、同産業が支えてきた地方も衰退の危機にあります。弊社は農林水産業を中心に展開する食のバリューチェーンの生産性と競争力を高め、付加価値化や新たな市場開拓で需要を拡大し、その結果として農林水産業と食品関連産業の成長産業化と地方再生の達成を目指します。

ライトハウスは水産業における課題解決を通じた、漁業者の生産性向上や負担軽減、漁獲データを活用した水産バ

リユーチェーンの最適化を進めており、「事業者の事業の合理化、高度化その他の改善を支援する技術の開発提供」を行っていると考えられ、改正投資円滑法の趣旨に合致するものと考えております。弊社は、本件投資後においても幅広い農林水産業法人とのネットワーク、株主である日本政策金融公庫や農林中央金庫、および JF グループのネットワークを活用し、当社事業戦略を全面的にサポートしていく予定です。

引き続き弊社は、出資機能を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL : 03-5577-6377